

不法投棄。パトロール

空き缶、ペットボトル、弁当の容器、雑誌…。大きな物ではタイヤやテレビ、冷蔵庫など、道のすぐ脇に不法投棄されたごみの山。市内各所で見られる不法投棄を無くすため、パトロールを行い、ごみの回収・分別作業を行う4人の『不法投棄パトロール作業員』が活動しています。

この『不法投棄パトロール作業員』は、今年1月に市が募集した臨時職員で水曜日を除く平日に2人ずつ2班に分かれて広範な市域を巡回します。



▶投棄されたごみを回収する作業員

◀ごみは持ち帰り分別します



「車を止められるスペースのある場所には弁当の空き容器やペットボトルが散乱しています。朝に回収して昼から同じところを通るとまたゴミが捨てられていることもあります。ほかにも家電製品や家具類など大型ゴミの不法投棄や、建築廃材や廃タイヤなど、事業系の廃棄物と思われる大量のごみが発見される悪質なケースもあります。」

昨年度に南丹市で回収した不法投棄による廃棄物の処分費用は約80万円になりました。今年度も昨年を上回るペースで不法投棄が見つかっています。例年3月の引越し時期には不要となった家庭用品の投棄、夏の観光シーズンにはポ

不法投棄パトロール作業員

奥村 薫さん



2年間、地区の環境美化推進委員を務めました。ごみ・環境問題に関心があったので、パトロール作業員に応募しました。家庭でもゴミの分別は私の仕事です。

環境美化推進委員をしていて感じたのは、ごみの分別区分が市民に十分徹底できていないこと。集積場に出されたごみの分別が不十分なため回収されず、残った袋を家に持ち帰り分別し直したことも

イ捨てによる不法投棄が増加しています。

また、林道や山林、ため池など、人目に付きにくい場所に不法投棄される被害も多発しています。ごみの投棄者が判明しない場合は、土地の所有者・管理者が、自らの責任でごみを処理しなければなりません。

ありました。市では分別区分の書いた冊子を配付されていますが、各地区で説明会を開くなどさらなる周知が必要だと思います。

また、毎日パトロールをしていてよく発見するのが不法投棄禁止の啓発看板付近に投棄されたごみです。冷蔵庫などの古くなった家電や生ごみなどさまざまなものがあります。仮に分別の区分が他市町村に比べて細かいことが不法投棄の増える原因ならば、細かく分別せず埋め立てなどで処理する方法もありますが、埋めたごみから有害物質が発生するなど環境に悪影響があり、するべきではありません。

やはり、不法投棄は人のモラルの問題であり、小学校の授業などでごみ・環境問題を取り上げ、子どもの中から教育することが不法投棄などの防止につながるのではないのでしょうか。

市では、なお一層のパトロールの強化に努めていきますが、市民の皆さんも不法投棄されにくい環境づくりにご協力をお願いします。不法投棄を見つけたら、南丹警察署（Tel 0771-62-0110）、南丹市環境課（Tel 0771-68-0015）まで通報をお願いします。